

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 24 号

平成19年11月 1 日

尚美展100回記念特集号

— 輝ける作家たちの軌跡 —



千葉県立美術館蔵

作品介绍

(23)

「鑄銅第三の指向花器」

山室源作(号百世)作

「輝ける作家たちの軌跡」展を親て

青井記念館美術館
はぐくみ会

会長 玉井 晶夫

本年当校の尚美展が記念すべき第一〇〇回を迎えました。より高くてやまない尚美の精神で学んだ成果が、数々の輝かしい実績を残してきました。

青井記念館美術館では、記念特別展として「輝ける作家たちの軌跡」という先人たちの作品を通して尚美展一〇〇回の足跡を辿る企画をおこなっています。工芸学校草創期から現代に至るまでの作家たちの輝かしい作品は、尚美の教育が確かであったことを改めて心に強く感じます。

また、「六人展」と称し、本校ゆかりの作家で、日本芸術院賞受賞者・無形文化財保持者の優れた作品を県内外の美術館よりお借りし、特別展示されました。この中で山室百世氏の作品は富山県内になく、調査の結果、千葉県立美術館に収蔵されていることがわかり、山室氏の代表三品を展示しております。

この記念特別展は、十一月四日まで開催されていますので、どうか鑑賞していただき、卒業生の輝かしい軌跡を顕彰してもらいたいと存じます。

特別展の開催

会(後の尚美展)が開催され、本年は数えて100回記念を迎えました。特別展では卒業生の方々より、創立60周年、100周年記念時に母校へ寄せられた作品など、収蔵作品が200点余となり、尚美展100回記念を祝し、卒業生の寄贈作品を年代順に紹介し、作家たちの活躍の軌跡を辿ります。



第一回 工芸品展覧会

明治27年10月に工芸学校が開校され、9年後、第一回工芸品展覧

―輝ける作家たちの軌跡―

展示内容

□草創期

- ・明治27年工芸学校開校
- ・明治32年尚美会の誕生

□明治・大正期

- ・明治37年以降

□現代

- ・昭和・平成(創立100周年記念)

□特別展示

- ・日本芸術院賞受賞者
- ・重要無形文化財保持者

特別展は、本校収蔵作品を9月15日より11月4日まで開催します。なお期間中の10月13日より28日まで、高岡市美術館ならびに千葉県立美術館よりお借りした作品を特別展示します。特に山室百世氏の作品は県内美術館では見ることのできないものです。

展示概要

草創期



工芸学校開校

工芸品の陳列場を引き継ぎ、工芸学校の誕生を紹介



尚美会の誕生

明治32年 先生・学生・卒業生による尚美会発足。明治36年工芸品展覧会を開催した。

明治・大正期

明治37年以降国内・外の博覧会に出品し、受賞する。上級学校進学者も増え、中央で活躍される作家など秀れた作品が多い。

現代

昭和・平成になり大作での発表、各種団体展や部門も多用となり、表現も自由で多彩となる。

このように卒業生を縦の流れで、明治から現代まで120余点を展示し、改めて工芸学校の輝かしい歴史を思うのである。



昭和・平成



明治37年以降

同窓生ギャラリー

5月16日(水)～6月24日(日)

第44回「代谷松男油絵展」



ライフワークとして白黒のじくろをテーマに、3大壁面に84ケのじくろの目が見る人を凝視している。

眼鏡をかけているじくろは、代谷さん自身であるとのこと、精力的な制作態度と意表をつく作品群に会場の見学者も楽しまれたようでした。

8月3日(金)～9月2日(日)

第45回「三三会工芸展」

卒業後50年を記念して窯業・図案科出身者を中心に当時の恩師、池上・山本・川波先生を交え、友人らも参加して開催されました。

期間中、同級生や友人・知人・家族の見学も多く、連日楽しい会話の弾む印象的な会場でした。



尚美展100回記念

特別展示 6人展

🌸 日本芸術院賞 — 本校卒業生の受賞者 —

優れた芸術作品に日本芸術院が授与する芸術界の最高賞で本校卒業生で5名の方が受賞されています。

佐々木長次郎(大樹) 山室 源作(百世)

明治41年木工科卒 彫刻家 大正8年金工科卒 金工家
受賞一九二八年 受賞一九五七年



「観音坐像」



「鑄銀小鳥のささやき」



大角 勲
昭和34年金属工芸科卒 金工家
受賞二〇〇三年



「天地守道(生)」

山崎覚太郎

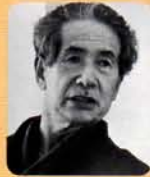
大正8年漆工科卒 漆工家
受賞一九五四年



「残映」

郷倉 与作(千朝)

明治43年漆工科卒 日本画家
受賞一九六〇年



「母子鳥韻図」

金森 栄一(映井智)

昭和3年金属工芸科卒 金工家
受賞一九八九年



「象嵌鑄銅花瓶」

🌸 重要無形文化財保持者(人間国宝)

芸術上の価値が高く、特に重要なものを国が指定し、これを高度に体現できる者また正しく体得しかつ精通している者を、保持者として認定する。技の保存と継承を目的とする。

特別展示として、山室百世氏は千葉県立美術館、他の5氏の作品は高岡市美術館よりお借りして展示しました。尚、受賞作品ではありません。

文化部合同展

7月7日(土)～7月26日(木)

今年で37回を迎えた文化部合同展も美術・陶芸・写真・クラフト・新聞・茶道・書道・デザイン研究等の他、工学系から機械・電子機械・電気・建築などが参加し、一学期間に製作や練習した活動の成果を発表しました。開展式には吹奏楽部の演奏も行われ一層華やかさをきわ立たせました。

書道部では大河ドラマからの文字を情感こめて書いた作品や、工学系ではロボットの作品、配線コンクールの受賞作など本校独自の作品が注目されました。又、会期中、茶道部員がお点前を披露し、来館者をもてなしました。保護者の見学も多く、文化部活動の一端を堪能していただきました。



また、保護者の見学も多く、文化部活動の一端を堪能していただきました。



常設展Ⅰ期

5月6日(水)～7月26日(木)

「絵画・工芸(漆工)」展

明治27年創校時の作品を中心に、絵画と漆芸品39点を展示しました。県工芸品陳列場より受け継いだ参考美術品や、創校時に全国から招かれた優れた先生方の作品は、来館者に感銘を与えました。鎌倉時代の「仏画(菩薩)」、古代中国の「蓮花水鳥図」、室町時代の「古唐櫃形経巻入」、初代校長の「山水の図」等は、大変見応えのあるものでした。



常設展Ⅱ期

8月3日(金)～9月2日(日)

「絵画・工芸(金工)」展

本展ではⅠ期に続き、収蔵庫からの絵画と金工品を36点展示しました。狩野探幽の「孔子の像」や蕪村の「青緑山水の図」、中国周代の祭壇用酒器「孫子皿」、高岡の名工関義平の「沖置物」等、充実した展示となりました。



作品紹介 (23)

表紙

「鑄銅第三の指向花器」

山室源作 作(号 百世)

人物の形をした角型の奥行の浅い表面に木葉模様を配した筒素な花器である。頭部には幅約2cmの穴へ花を挿入する溝がある。寸法は高さ42cm、横26cm、幅7cmの薄型の壺である。花器の概念から離れたユニークな作品。作者は本校金工科を大正8年に卒業、同期に山崎寛太郎がいる。卒業後上京し、服部時計店に入社。12年農商務省の練習生に選ばれ渡欧。昭和8年帝展初入選以降文展日展に出品する。昭和22年和光の経営に携わり36年退任。以後鑄金家に専念された。

催事案内

尚美展一〇〇回記念特別展

9月15日(土)～11月4日(日)

第14回青井中美展

11月21日(水)～12月6日(木)

常設展Ⅲ期

12月20日(木)～2月17日(日)

同窓生ギャラリ

第46回 1月22日(火)～2月17日(日)

卒業課題展

2月23日(土)～3月2日(日)

常設展Ⅳ期

3月13日(木)～4月3日(木)

同窓生ギャラリ

第47回 3月13日(木)～4月3日(木)

はぐくみ会会員募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込みは日から一年間会員となります。

主な活動

- ・青井記念館美術館への協力・支援
- ・中学生美術展(青井中美展)への支援

特典

- ・企画展等の案内
- ・はぐくみ会だよりの配布

年会費

一般会員(個人) 二,〇〇〇円

特別会員(企業、団体等) 一〇,〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑でしたが、皆様如何お過ごしでしたか?

尚美展一〇〇回記念特別展が開催され、今回は千葉県と高岡市より御協力頂き感謝しています。すばらしい歴史と伝統に感動するとともに、この大きな節目に当美術館に勤務し、特別展に携わることができた喜びを感じています。

今後一層お客様に親しまれる、充実した美術館を目指し努力するつもりです。

ご支援・ご指導の程宜しくお願い致します。

訃報

美術館運営委員で尽力頂いた野上隆氏が、九月十五日にご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

編集発行

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 〒931-8518 高岡市中川一-1-20

TEL (〇七六六)二一-一六三〇

FAX (〇七六六)二一-一六三一